

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	災害見舞事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	02	01	20	01	01
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行財政運営（行政の充実）			主管課	秘書広報課				
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営			主管課長	飯塚 修司				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	災害が発生し、甚大な被害を被った姉妹都市・友好都市ほか自治体	意図	災害により被害を受けた自治体の災害復旧に対する支援を目的とする
事業内容	姉妹都市・友好都市のほか災害時応援協定を締結した自治体等が被害を受けた場合に見舞金を贈り、災害復旧に対する支援を行う			
事業開始から現在までの状況変化	災害時応援協定を締結した姉妹都市・友好都市、更には、雲仙普賢岳の噴火、北海道南西沖地震、阪神淡路大震災の際に見舞金を支出している。今後も、大規模災害発生時に協議の上対応したい。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						・災害時応援協定を締結している姉妹都市・友好都市ほかの自治体が被害を受けた場合に見舞金を支出し、結果を広報ながれやまで公表した。 （H26年度は該当なし）
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	717,800	698,700	345,463				
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)	717,800	698,700	345,463				
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.05				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	想定される事態に常に備える。	③取り組みの課題	大規模災害時における支援体制の確立・維持。
②今年度(H26)に実施した取り組み	今年度は実績がなかった。	④今後の改善計画	突発的に起こる災害に対し即対応できる体制を整えたい。